

DISTRICT 2500 OBIIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と信頼

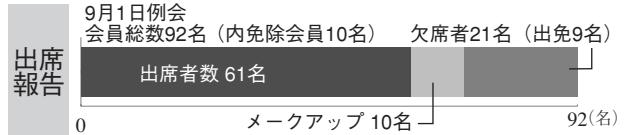
会長 後藤 裕弘

No. 2904

第3222回例会

平成22年9月22日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
(地域を育み、大陸をつなぐ)



■プログラム 「ガバナー講演」

柴田 和明 ガバナー



本日は早朝より会長幹事会とクラブ協議会にお時間を1時間頂き、無事終了させて頂きました。

会長幹事会の中ではクラブ活動計画書に、後藤会長による素晴らしい表現が掲載されています。RIの方針の中で、当クラブの今年1年の活動方針があります。同時にクラブ協議会におきましても、各委員長さんの1年間の活動計画をお聞かせ頂きました。親クラブだけあり素晴らしいご計画を立てていらっしゃり、何も言う事がありません。100点満点のところ300点満点ぐらいであると評価させて頂きます。

今日は会長幹事会の最中にパストガバナーの田中さんが飛び込んでまいりました。私どもにとっては生き字引であり、私もいろいろな角度でご指導いただいております。この場をお借りして田中パストガバナーには厚くお礼を申し上げるところでございます。

今年のRIの方針は、すでにRI会長方針の中で目を通されていると思いますが、職業奉仕を中心にもってきておりまます。職業奉仕から社会奉仕へのつながり、そして職業奉仕から国際奉仕につながっているわけです。基盤は職業にあるのだと謳われています。

同時にテーマといたしましては、大陸に橋をかけようというものです。今までのRIの会長テーマとして、ロータリー愛に対するものが多かったのですが、地域社会に対する広報・PRを一つ皆さんで考えていきたいと思います。総体的には各クラブにおいて、時代の波に類した大胆な変化をしていくよう求めていらっしゃいます。皆さん方が地元に帰られたら、くれぐれも大胆な変化をするようにと各クラブに伝えてほしいとおっしゃっていました。後藤会長もその事にふれていらっしゃいますし、親クラブとしてお手本としているところです。これからも我々をひっぱっていって頂きたいと思っております。

RIの方針の中で基調とされているのは、やはり増強です。出席率の向上、財団、自然環境に対する方針が出ているわけですが、2500地区に対しては小さなクラブの問題があります。これはRIの方針の主体性について言うと、財団というものが中心となってきます。しかしRIがおっしゃるよう

に財団というのは大切なことですが、今2500地区におかれている我々の各クラブの立場というのは、70%が小クラブで構成されています。過去には消えてしまったクラブもあり、小さなクラブの存続が主体ということになってきます。そこで小さなクラブに対するひとつの方針をたてました。それは小さなクラブが消滅しないためにどうあるべきか、という事です。大きなクラブからの小さなクラブに対する思いやりが鍵を握ります。人材育成は公平でなければならず、大きなクラブと小さなクラブ関係なくありたいです。どんなクラブからも人材を育成していく風土、また一つの行事をやる上において一つのクラブでもどんどん計画して実行できる体制づくりが必要だと思います。小さなクラブにも素晴らしいロータリアンの方がいるので、そこから地区の長やガバナーを輩出していけるようにしたいです。それには分区単位でのクラブ同士の和が大切となってきます。小さなクラブが孤立しないように呼びかけていきたいです。たとえ5名しかいないとしても、ガバナーが輩出されることが大切だと思います。

小さなクラブを焦点として50クラブほど渡りあるきましたが、その例として、中頓別があります。2072人の人口に対して20名体制でクラブを頑張っています。また音別クラブでは人口2300人のなかに20名程で運営しております。人口100人に対して1人の割合でロータリアンを育てており、これは大きなクラブだといえるでしょう。第2分区では一番大きいクラブですよと、中頓別の町長さんに申し上げてきました。

これから各クラブの活動の在り方にについて、一番大切なことはクラブの魅力づくりです。それにはロータリアンとしての資質が重要となります。バッヂは付けているけども、この人がロータリアンであるのか、というように思われてはいけないです。一人一人がロータリアンとしての気品を保つことが大切で、このことを念頭においてください。

もうひとつ大切なことは、奉仕の仕方です。奉仕の形にはいろいろあり、お金、物、労力を伴うものがあります。その中でもロータリーで求められているのは、地域社会において汗をかく奉仕が一番のPRとなるので、いまいちど再認識することが必要です。新聞に掲載することだけが広報ではないのです。汗をかく奉仕が一番地域社会に理解されるのです。これから奉仕をする上でどうかご参考になさってください。

また規律も大切となってきます。規律がなければ進歩と

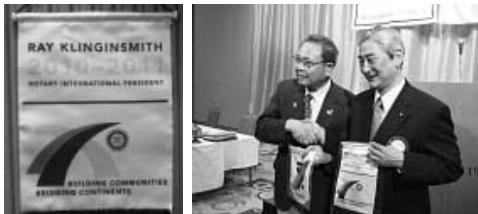
発展がなくなります。規律が無くなるとやりがいがなくなります。親睦は大切ですが、規律がなければ、なあなあな関係となり、品位が問われます。そこを十分にふまえてクラブの魅力づくりを心掛けてください。

これまで53のクラブをまわってきましたが、それぞれのクラブにドラマがありました。私もこれを参考にさせて頂きたいと思います。本日は勉強させていただきました。ありがとうございました。

■ライラセミナーホストクラブ表彰



■RIバナー授与



■会長報告



今日は2500地区ガバナーをお迎えしての公式例会訪問となっております。私どもも会長会議懇談会、クラブ協議会の2つを通じ、ガバナーから本年度の運営に関しましてご示唆をいただきました。

ガバナーにおかれましては、53クラブの公式訪問を大変元気に消化され、また各クラブにご指導されていまして、同じ帯広地区として誇りに思っております。

今日はガバナーから今年の方針についてのお話、また皆様方の勉強になることについてご示唆頂けると思いますので、しっかりと耳にいれて勉強させて頂きたく思います。

■ゲスト紹介



RI第2500地区ガバナー 柴田 和明様
第6分区ガバナー補佐 畠山 誠一様
〃 地区幹事 萩木 雅敏様
〃 地区副幹事 飯田 正行様

■会務報告

讃岐 武史 幹事

(1)帯広西RC、9月23日(木)は祝日のため休会と致します。

(2)帯広北RC、移動例会(家族野遊会)開催のご案内

日 時 9月23日(木) 午前9時30分

場 所 焼肉ガーデンまくべつ

※尚、9月24日(金)の繰上げ例会と致します。

(3)帯広南RC、夜間例会(帯広RAC合同例会)開催のご案内

日 時 9月27日(月) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

(4)帯広東RC、夜間例会開催のご案内

日 時 9月28日(火) 午後6時30分

場 所 帯広ワシントンホテル

(5)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 9月28日(火) 午後6時30分

場 所 北のいっぴん正次郎

※尚、9月30日(木)の繰上げ例会と致します。

(6)帯広RC、移動例会(職場訪問)開催のご案内

日 時 10月6日(水) 午後0時30分

場 所 帯広畜産大学 かしわプラザ

(帯広市稲田町西2線11 ☎49-5216)

各委員会

・出席報告

出席委員会

9月22日の例会報告

会員総数92名 内免除会員10名 出席者数58名

9月1日の例会報告

出席者数71名 出席率83.5%

・ニコニコ献金

親睦活動委員会

吉野 信司 会員

明治43年10月に帯広～池田間で電話サービスを開始してから、今年で100年目を迎えます。これを記念して9月26日(日)の帯広ホコ天に「とかち電話100周年感謝フェスタ」と題して、出店することとしました。パネル展示、子供縁日の他、任天堂のWiiが当たるクイズも用意していますので、是非ご来場ください。

また、記念に作成したエコバッグを皆様の引き出しに入れましたので、是非ご利用下さい。

飛岡 抗 会員

9月5日(日)の野遊会に多くの会員、家族皆様のご参加ありがとうございました。感謝いたします。

■次週プログラム予定

9月29日「会員卓話」 (プログラム委員会)

堀江 威光 会員・森 武夫 会員

ロータリーミニ見に情報

RI第2500地区第6分区

北海道を東西に分け東半分が2500地区(66クラブ)。その地区は8つの分区に分かれています。その中で十勝は第6分区(11クラブ)です。市内4クラブのほかは、足寄、広尾、上士幌、芽室、音更、清水にクラブがあります。7月現在、会員数は498名(女性20名)です。一番会員の少ないクラブは上士幌の13名。出席率のトップは帯広西の90.7%です。

(ガバナー月信Vol.3より)



例会日/水曜日 12:30～13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス/<http://www.obihiro-rc.jp>

